

日中友好のしんぶん

大阪と中国

●編集・発行

特定非営利活動法人

大阪府日本中国友好協会

〒543- 大阪市天王寺区大道5-4-6
0052 大阪スカウト会館2F

TEL06(6770)0080 FAX06(6770)0707

●発行日 2013年5月1日 No.229

●定価 200円

宛先：大阪府日中(jcf@mail.infomart.or.jp)

<http://www.kaigisho.com/jcf>

題字は王个簪氏



2013年日中新春互礼会 300名が参加
中央 コンドズ・ユスフ副総領事と谷井会長



新春互礼会で鄧小平氏が揮毫された色紙を披露し
あいさつする谷井会長



蘇州市から外事弁公室友好都市処副処長の曹静さん家族を迎えての
池田市日中の新年会



地域在住の中国人や中国人留学生を多数交えての
阪南市日中での春節お祝い会

5月25日(土) 第13回通常総会を開催

- | | | |
|----------|--------------|------------|
| ● 主な内容 ● | ◇ 第13回通常総会 | 事業報告・事業計画案 |
| | ◇ 友好交流レポート | ◇ 地区協会NEWS |
| | ◇ MY OPINION | ◇ 会員消息 |

NPO大阪府日本中国友好協会

第13回通常総会のご案内

平素は格別のご協力、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当協会は、第13回通常総会を下記の通り開催いたします。今年は日中平和友好条約締結35周年にも当たります。私共は民間の立場で、一層の日中友好促進に努めたいと思います。

ご多忙とは存じますが、お誘い合わせて多数ご出席下さいますようご案内申し上げます。

2013年4月吉日

特定非営利活動法人 大阪府日本中国友好協会
会長 谷井 昭 雄

●と き : 2013年5月25日(土) ^{13:30} ~~14:00~~ ~ 18:15

●と ころ : ホテル ニューオータニ大阪 2F「鳳凰の間」 TEL: 06-6941-1111
大阪市中央区城見1丁目4番1号

13:30~15:00

◆第13回通常総会

- 議案: 第1号議案 2012年度事業、決算報告について
- 第2号議案 2013年度事業計画、予算について
- 第3号議案 定款の変更について
- 第4号議案 役員改選について

15:30~16:30

◆記念講演

講演 「日中関係と日本の行方」
丹羽 宇一郎 氏

前中華人民共和国駐劄特命全権大使
前伊藤忠商事株式会社社長

*会員以外の方もお誘い下さい。多数の皆様
のご来場を歓迎します。会費不要。

《会場地図》



●交通
[最寄駅]
J R 大阪環状線「大阪城公園」駅より徒歩3分
地下鉄 鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅より徒歩3分

16:45~18:15

◆懇親レセプション

会費: 5,000円

*立食形式、会員以外の方もお誘い下さい。

*ご出欠にかかわらず、同封のハガキまたは
FAX用紙で5月12日までに、ご返事をお願い
致します。

ご家族の会員の場合は、代表の方のみに案内をお
送りしておりますが、併せてご記入ください。
ご欠席の場合は、必ず委任状に署名、捺印くださ
るようお願い致します。

ごあいさつ



厳しい時こそ 信念をもって努力しよう

会長
谷井 昭雄

昨年度の尖閣列島問題に端を発した日中関係は、依然として厳しい膠着状態の中で推移しております。私達は一日も早い友好関係の回復によって、両国国民が笑顔で手を握り合い、共に発展への道を力強く歩み続けられることを希求するものです。

しかし、今が厳しい環境にあるからと、消極的に時を待つことではいけないと思います。

むしろこういう時こそ、私達の出来る最善の努力を考え、出来ることを着実に実行して行くことが必要であると思います。

本年度の大阪府日中友好協会の活動方針を次のようにしたいと思います。

I) 組織の強化

日中友好を通じ共に発展し、アジアと世界の平和、発展に貢献することは、永遠のものでなければなりません。そのためには、社会の共感と参加を得る努力が必要です。

それには

1. 会員相互の友好結束
 2. 会員の増強
- 個人会員はもちろんですが、法人会員を増やすことに努めたい。

II) 本年は地元におられる中国の団体や、人達との交流を深める活動

華僑総会や留学生、その他との交流

III) 地区協会との関係強化を通じ、幅広い活動を目指したい

地区協会それぞれの独自の活動や考え方を尊重しながら、より広く、まとまった活動が出来ることが、より大きな日中友好活動の広がりにつながるものと思います。

以上に加え、青少年の若い人達が参加して下さるよう、より意義のある、活発な活動を皆様と行って参りたいと考えます。

今後共一層のご理解とご参加をお願い致します。

活動日誌

2012年4月～2013年3月

月	府協会活動	全国・関西・領事館など	関連事項
4 月	04 岸和田市日中との懇談会	02 上海海事大学歓迎会(神戸)	12 海南島観光紹介イベント
	10 女性委員会 花見(岸和田)	03 中秋明月祭実行委員会	
	17 日中親善ゴルフ大会(堺日中)	07~15 上海道教代表团 来阪	
	19 運営委員会	18 上海雑技団公演	
	第1回 評議員会、理事会	22~24 唐家璇中日友好協会会長来阪	
30 豊中市日中総会	23 唐家璇会長歓迎レセプション(リーガロイヤルホテル)		
5 月	01 「大阪と中国」No.226号発行	14 中秋明月祭実行委員会	
	10 運営委員会	24~25 第13回日中友好交流会議(貴州省貴陽市)	
	15 大阪三島日中 総会	27 陳氏太極拳交流フェスティバル(交野)	
	19 第12回通常総会、講演、懇親会(リーガロイヤルNCB)		
	26 吹田市日中総会 阪南市日中総会		

2012年度 事業報告

はじめに

2012年は日中国交正常化40周年に当たってさまざまな記念行事が企画され、前半は順調に進んだ。だが9月半ば以降「鳥」問題で両国関係が悪化し、予定されていた事業の幾つかが中止・延期になるなど大きな影響を受けた。

そうした中で、中秋明月祭や「歌でつなぐ日中友好の架け橋」などの行事を主催共催し、在留華僑華人、中国人留学生との交流や当協会会員相互の交流を深めることができるなど、成果を上げることができた。

I. 主な事業の報告

① 唐家璇中日友好協会会長ご一行歓迎

4月22日に関空に到着され出迎えをし、23日に当協会と日中経済貿易センターが主催する歓迎会をリーガロイヤルホテルで開催し、200名以上の参加者を集めて和やかな交流、歓談を行なった。

② 日中親善ゴルフ大会

1) 4月17日(堺日中のお世話)

劉毅仁総領事をはじめ32名、天野山カントリークラブにて、優勝は堺日中の吉田一之さん。

2) 10月23日(豊中市日中のお世話)

総領事館から4名、計28名、アートレイクゴルフクラブにて、優勝は枚方日中の森分最さん。

③ 第12回通常総会・記念講演・レセプション

5月19日(土)中之島センタービル3FリーガロイヤルNCBにて開催。記念講演の講師には中国でも有名な女優の中野良子様をお招きし、講演後のレセプションでは、100名の参加があり和やかな雰囲気の中大いに歓談し、盛り上がった。



④ 第13回日中友好交流会議

5月24～25日に貴州省貴陽市にて日中交流会議が開催され、当協会から田中潤治副会長、小田眞弘副理事長をはじめ5名が参加。閉会式の最後に次の開催地に大阪が名乗りを上げるとの表明がなされ、会場から万雷の拍手で承認された。

月	府協会活動	全国・関西・領事館など	関連事項
6 月	09 高槻市日中創立30周年記念 祝賀パーティー	02 奈良県日中総会	06 大阪府議会日中議連懇談会
	10 河内長野市日中総会	04 本部 理事会	07 日中経済協会 来訪
	15 運営委員会、 第1回地区協会会長会議	16 中秋明月祭実行委員会	19 大阪日中協会総会
	26 堺日中総会、姉妹都市レセプション	17 滋賀県日中総会	20 関西国際交流協議会総会
	28 本部委員会	18 本部 総会	
	29 池田市日中総会	25 北京市対外友好協会一行来阪	
	30 高槻市日中総会		
7 月	05 大阪府・市へ貴陽会議の報告	01 中国知識検定決勝(神戸大学)	01 産業大学学生 来所
	08 熊取町日中総会	02 日中交流会議 関西懇親会	26 明月祭出展者会議
	19 運営委員会	08 中国人留学生40周年公演	
	22 日中国交正常化40周年記念 四川ドキュメント映画上映会	20 「多彩なる貴州の風」公演	
	25 泉州地区協会会議	22 大阪・上海少年サッカー交流 上海中学チーム一行歓迎会	
	31 本部委員会	30 江蘇省人民対外友好協会 扈海鷗秘書長 表敬訪問 元上海市対友協日本処長 張雪娜さん 表敬訪問	

⑤ 大阪・上海 少年サッカー交流大会

第8回大阪平野スポーツフェスティバルの中学サッカー交流大会に上海市江鎮中学チーム一行27名（団長 上海市人民対外友好協会の龔毅さん）が7月21日から大阪に入り22日に大会関係者とのレセプション、26日まで4試合の交流を行なった。

⑥ 北京での日中友好交流都市卓球交歓大会に大阪から中学生4チームが参加

8月17日～19日、「友誼第一」をモットーにした日中友好交流都市卓球交歓大会に大阪から大阪市3人、八尾市6人、寝屋川市5人、守口市4人の4市が参加した。八尾市のチームは大会後、友好都市である上海嘉定区を友好訪問した。

⑦ シルクロードの旅 8月19日から7泊8日

日中友好協会関西ブロック協議会と当協会女性委員会が企画した「シルクロードの旅」が女性委員長の川上和さんを副団長、峯留春理事を秘書長として一行19名が8月19日から出発し、新疆人民対外友好協会や新疆婦女連合会とも交流を行なった。



⑧ 日中国交正常化40周年記念植樹式

9月10日、大阪城公園狛犬前にて主催・大阪華僑

総会、共催・当協会による記念植樹式が行われた。しだれ桜1本と百日紅3本が植えられ、記念石碑も設置された。



⑨ 中秋明月祭

当協会も初めて主催者として参画した第4回「中秋明月祭 大阪2012」が史跡難波宮跡で9月15～16日に開催され1万9千人の来場者を集めた。堺、北摂地区協会も入った大阪府日中合同ブースで物販にも取



り組んだ。上海市対友協の協力を得て招待した上海青少年少女雑技団の演技は会場が一番の人気を博した。



⑩ 中国語スピーチコンテスト大阪府大会

10月28日 出場者13名、審査員3名、総勢40名、大阪スカウト会館3Fの会議室で開催。

月	府協会活動	全国・関西・領事館など	関連事項
8 月	11 事務局盆休み（～15）	19～26 新疆ウイグル訪中団	24 明月祭最終出展者会議
	17 北京大学日本校友会 譚振権氏来所 谷井会長 インタビュー	21 江蘇省囲碁一行来阪	
	21 本部委員会	25 中日国交正常化40周年記念 講演会（大阪華僑総会と共催）	
	23 運営委員会		
	北摂地区協会交流会		
	31 第2回理事会 第2回地区協会会長会議		

⑪ 「歌でつなぐ日中友好の架け橋」

11月25日に当協会の主催による「歌でつなぐ日中友好の架け橋」の会を230名の参加者を集めて太閤園で開催した。第1部は作詞家もず唱平氏による記念講演と高橋樺子さんの歌、第2部は辻紫岳さんや中国の変面、歌や踊りの公演があり、その後会場を替えて懇親会と終始和やかな雰囲気の中、大いに盛り上がった。



⑫ 2013 新春互礼会

1月17日 305名が参加して開催 (12頁参照)

・会議

- *理事会 4月、8月、2月 3回開催
- *評議員会 4月に開催
- *地区協会会長会議 6月、8月、3月 3回開催
- *運営委員会、本部委員会 ほぼ毎月開催

・その他

- *第4回中国知識検定 (中国総領事館主催)
堺日中の梅田ことみさん、豊中日中の竹下晃治さんが大賞、堺日中の中川健一さんが優秀賞を獲得した。

・関西ブロックでの交流

- 1) 奈良で関西ブロック交流会議 10月20日
当協会から林昭嘉理事長はじめ6名、総領事館から2名含め総勢23名。次年度は大阪で開催。
- 2) 関西ブロック女性交流会 10月30日
当協会からは川上和女性委員長をはじめ13名、総領事館から2名含む総勢29名が池田市の久安寺、不死王閣で会食、会議を行なった。

・緑化事業について

当協会は、日中緑化交流基金の助成を得て、中国緑化基金会と協力して12年にわたり緑化事業を行ってきた。

- 1) 第1期 潮州市饒平県紅樹 (マングローブ)
- 2) 第2期 張家口市涿鹿県

以上2件の植樹報告が遅れていた為、3月に検収訪中団を派遣。潮州市は台風、塩害でうまくいかず、1年遅れて再植樹することにした。張家口市は遅れたが、植樹できたので報告をした。なお当協会の緑化事業は、中国緑化基金会とも協議し、一旦これで終えることになった。

・機関紙「大阪と中国」

5月1日号、国交正常化40周年特集号 (9/1)、新年号と3回発行した。

II. 各地区協会の主な活動

1) 池田市日中友好協会

- ①上海同済大学日本語学部生15名来池ホームステイ訪日、日本語研修 (市長表敬訪問他、池田・奈良・京都・大阪・神戸観光)、豊中市日中友好協会のHS協力あり 5月17日~24日
- ②第34回定期総会 (33名) 倉田薫新会長と藤尾昭名誉会長の新体制発足、記念レセプション (64名) 6月29日

月	府協会活動	全国・関西・領事館など	関連事項
9月	01 「大阪と中国」40周年特集号	14 明月祭前夜祭 (於：中国総領事館)	21 「出会いと絆のコンサート」 いずみホール
	05~08 谷井会長 蘇州シンポジウム 上海訪問	18 遼寧省中日友好協会来所 陳鐵城会長 (小田副理事長)	27 北京40周年祝賀会 キャンセル
	10 新華社 馬興華 (大阪支局長) 谷井会長インタビュー	24 大阪華僑総会：国慶節 (大成閣)	
	10 40周年記念植樹 (大阪城)	28 中国総領事館：国慶節 (ホテル阪急インターナショナル)	
	11 本部委員会		
	13 上海少年少女雑技団歓迎会		
	15~16 第4回中秋明月祭		
	20 運営委員会		

- ③倉田新会長、池田市の友好都市江蘇省蘇州市を訪問、会長交代挨拶 7月11日～15日
- ④倉田新体制で第1回理事会(12名出席)、その後年度末までに計4回の理事会を開催 9月5日
- ⑤下期中国語講座 10月18日～3月24日(尚、上期中国語講座は4/15～9/23) 受講生17名
- ⑥池田商工会議所改築計画に伴う、池田市日中事務所の移転 10月22、23日
- ⑦訪中旅行「中原歴史文化の旅」(7泊8日)は、尖閣諸島問題の深刻化を受け、次年度以降に延期を理事会で決定 10月3日
- ⑧第34回「寒山寺除夜の鐘を聴く迎春訪中」、倉田会長夫妻と藤尾名誉会長夫妻を含む12名と現地参加3名の計15名、蘇州市政府は勿論、無錫市と上海市の対外友好協会の熱烈歓迎を受ける 12月30日～1月3日
- ⑨2013年「新年の集い」、駐大阪中国総領事館領事や池田市長を含む88名、特別来賓として蘇州市外事弁公室友好都市処副処長の曹静さんご家族ご両親7名が訪日旅行を兼ね参加 2月19日

2) 枚方市日中友好協会

- ①定期総会(27名)と
第16回親善ゴルフコンペ(12名) 4月27日
- ②小さな善意による日中友好の集い 5月20日
- ③関西外大孔子学院 日中国交正常化40周年記念京劇公演～「粉墨中国」～(数名) 6月26日
- ④枚方日中 第38次「上海万博訪中団」同窓会
於)天安門・天水苑 21名 7月6日
- ⑤張雪那氏(前上海外事弁公室日本処処長)枚方市長表敬訪問、歓迎会 8名 8月1日
- ⑥「中秋祭」月見交流会&日中文化知識コンテスト
枚方日中と孔子学院の共催、枚方日中として「日本舞踊」と「野点」を通じて日本文化の紹介

- 留学生、日中会員等300名超参加 9月29日
- ⑦上海市長寧区行政訪枚団との昼食会
枚方日中より6名参加 11月21日
- ⑧第13回「枚方多文化フェスティバル」
枚方日中として中国人留学生による「秋歌おどり」と太極拳を披露、テントで中国茶の提供、中国の民芸品、茶器、雑貨等を販売 11月24日
- ⑨2013日中韓文化交流フェスティバル 1月19日
- ⑩新年会 於)枚方がんこ 34名 1月29日
第17回親善ゴルフコンペ 15名
- ⑪中国家庭料理を楽しむ会
中国語を学ぶ会と共催で 2月17日
- ⑫和服の着付けとお茶の作法の指導 3月2日
孔子学院大学院生ら3名を山中会長宅に招待

3) 八尾市日中友好協会

- ①定時総会 11名 5月28日
- ②定時総会懇親会並びに上海市嘉定区友好訪問団
歓迎夕食会 30名 5月28日
- ③「日中友好交流都市中学生卓球交歓大会」派遣
選手団壮行会 31名 8月6日
- ④新春懇親会 25名 1月28日

4) 高槻市日中友好協会

- ①花見の会(青年部) 芥川桜堤 43名 4月8日
- ②創立30周年記念事業・式典 6月9日
現代劇場にて 132名、パーティー 61名
- ③定期総会 現代劇場 99名 6月30日
- ④高槻まつり出店(青年部)
桃園小学校 8月4・5日
- ⑤第14回日中友好ビアパーティー
京都ホテル 52名 9月15日
- ⑥第4回中国語スピーチコンテスト
8名 10月6日
- ⑦第1号高槻日中だより(新規) 10月15日

月	府協会活動	全国・関西・領事館など	関連事項
10月	01 本部委員会 11 第2回北摂地区実行委員会(豊中) 18 運営委員会 23 日中親善ゴルフ大会(豊中市日中) 28 スピーチコンテスト大阪府大会	13 阪大中国人留学生交流 豊中日中(田中会長宅) 20 関西ブロック交流会(奈良) 22 延期 中国児童画展 30 関西ブロック女性交流会	14 第4回八卦杯太極柔力球日本 選手権大会(堀田副理事長)
11月	02 第3回北摂地区実行委員会(豊中) 09 本部委員会、運営委員会 18 松原市日中 総会 25 「歌でつなぐ日中友好の架け橋」 (太閤園)	08 中秋明月祭2012主催団体最終 会議 10 中国語歌唱コンクール (西日本地区) 教室 14 総領事館との懇談会 16 奈良県日中60周年記念の集い	01 本部理事会(東京) 04 天翔楽団10周年公演会 29 2013中秋明月祭 主催団体代 表者会議

- ⑧第2回中国料理教室 20名 11月8日
- ⑨卓球交流会(青年部) 17名 12月15日
- ⑩創立30周年記念誌(新規) 2月1日
- ⑪日中友好春節の集い 桃莉 42名 2月2日

5) 堺日中友好協会

- ①定期総会 35名 6月26日
- ②堺姉妹友好都市協議会の懇親会 42名 6月26日
- ③インターナショナルピープルカーニバル
展示と手作り品販売 10月28日
- ④第7回国際ふれあいの集い・堺 23名 12月5日
- ⑤連雲港市の幼稚園児の図画を展示
・堺市立幼稚園 1月23~24日
・幼稚園児図画交流展 2月26日~3月4日
- ⑤会員の集い~春節を祝う~ 63名 2月14日
◎中国文化講座 中国語4コース、太極拳入門編

6) 岸和田市日中友好協会

- ①定期総会・懇親会 21名 4月21日
- ②岸和田市民フェスティバル きつねうどん販売
と写真展示 中央公園 15名 5月3日
- ③陶芸教室 陶房「焔」 10名 6月23日
- ④中国映画鑑賞会 総領事館 10名 8月21日
- ⑤公開講演会「暮らしを支える基礎医学」 9月30日
- ⑥みかん狩り 北阪町「洋光園」 17名 11月3日
- ⑦春節祭 Café のだて 23名 2月9日
- ⑧泉州国際市民マラソン 招待選手歓迎会
岸和田日中 8名 2月15日
- ⑨バスツアー「中国王朝の至宝」 12名 3月14日

7) 河内長野市日中友好協会

- ①定時総会 バディ長野 6月10日

- ②産業祭(楽市・きらく市) 出店
奥河内ぶたまん 519個完売 11月18日
- ③「中国王朝の至宝展」バスツアー 15名 3月14日

8) 阪南市日中友好協会

- ①講演会 講師:当協会 山本義輝氏 5月12日
日本中国友好の原点は鉄と鎌
- ②阪南市国際交流協議会総会 4名 5月13日
- ③第22回定期総会 西鳥取公民館 34名 5月26日
- ④岬町国際交流サークル夏まつり 8名 7月7日
- ⑤忘年会 「魚喜」 23名 12月26日
- ⑥春節お祝い会
池田泉州銀行淡輪寮 52名 2月10日
- ⑦「中国王朝の至宝」合同鑑賞会 11名 3月26日
- ◎ハイキング 年4回実施 20名
- ◎機関紙「星星」204号~215号 11回発行
- ◎日中小学生交流は日中関係により2回とも中止

9) 熊取町日中友好協会

- ①花見旅行:山辺の道散策 8名 4月4日
- ②講演会 講師:山本義輝阪南市日中会員
日本中国友好の原点は鉄と鎌—私の体験をもと
に— 22名 5月12日
- ③講演会 講師:林昭嘉大阪府日中理事長「中国
経済の現況とこれからの交流」 15名 6月9日
- ④第17回総会、講演会 講師:林 雅清事務局長
長「元曲—中国の古代文学から芝居へ—」
懇親会:がんこ五風荘 16名 7月8日
- ⑤講演会 講師:林 敦子会員
テーマ:紅楼夢 13名参加 9月8日
- ⑥秋の一泊旅行 場所:飛鳥 7名 9月29~30日
- ⑦講演会 講師:武内孝之会長 10月13日

月	府協会活動	全国・関西・領事館など	関連事項
12月	01 本部委員会	05 延期 総領事館40周年表彰	06 本部 常務理事会(東京)
	09 熊取、岸和田市日中 忘年会	09 西日本新華僑華人聯合会 設立10周年祝賀会 <下記 忘年会>	
	12 運営委員会	14 総領事館教育室	
	16~19 延期 「西村真琴と魯迅…」展	16 関西在職中国人交流協会	
	22 青年部 忘年会	21 中国国家観光局	
	26 「大阪と中国」新年号発送		
2013年1月	30~03 蘇州寒山寺<祈福新年>訪中国		
	17 日中新春互礼会 ホテルニューオータニ大阪	05 大阪鍼灸師会新年会(理事長)	09 大阪日中協会 新年会 連合 新春の集い
	22 本部委員会	12 京都府日中 新年賀詞会	12 自治労旗開き
	24 運営委員会	16 麻雀新年互礼会	15 公明党新春年賀会(理事長)
	豊中市日中 新年会	19 滋賀県日中 賀詞交換会	19 関西日中平和友好会新年会
	28 八尾市日中 新年会	19 日中韓文化交流フェスティバル (JKSA、枚方日中)	23 本部 理事会・臨時総会 新年会(東京)
	29 枚方市日中 新年会(会長)	28~31 協会代表団訪中 (大藪常務理事)	26~27 第33回芸文祭

日中関係からよむ万葉集(2)

- ⑧町民文化祭に展示参加 11月3～4日
- ⑨忘年会 ベストウエスタンホテル 12名 12月9日
- ⑩講演会 講師：樫井賢一理事長 1月12日
テーマ：杜甫 一風になった男— 19名
- ⑪春節餃子パーティ 19名 2月3日
- ⑫講演会 講師：広瀬省三副会長 12名 3月9日
テーマ：現代中国の文字 簡体字とピンイン

◎中国語講座(5/19～4/20 全20回)

講師：砂川維豪会員・廣瀬省三副会長

◎中国人留学生などに日本語指導

◎機関誌『悠悠』発行

10) 松原市日中友好協会

- ①第11回中国映画鑑賞会 28名 6月17日
- ②第38回松原市民まつり 8月4～5日
- ③第17回定例総会 全会員 11月18日
- ④神戸南京街～神戸市博物館(王朝の至宝展) 12名α 2月11日

11) 豊中市日中友好協会

- ①西村真琴顕彰委員会が活動開始 4月2日
- ②第15回定期総会、懇親会 28名 4月30日
- ③創健委員会が府日中内に事務所開設 5月12日
- ④留学生と中国家庭料理を作る会 11名 7月21日
- ⑤中国映画祭 阿倍野区民会館 7月22日
- ⑥「西村真琴と魯迅」展実行委員会 9月7日～11月
- ⑦阪大中国人留学生とバーベキュー
田中会長宅 57名 10月13日
- ⑧日中親善ゴルフ大会(豊中日中) 10月23日
- ⑨改革委員会 第1回会合 12月20日
- ⑩新年会 於：天津閣 13名 1月24日
- ◎中国語講座 講師に竹下氏 4月から

◎豊中市日中友好だより

2012年5月号発行

12) 吹田市日中友好協会

- ①第13回定期総会 40名 5月26日
- ②北京吹田友人之家 吹田本部発足会 7月13日
- ③中国西安の旅・仏跡を訪ねて 4泊5日 9月11～15日
- ④西日本中国人留学生との1泊2日交流会
吹田市自然体験交流センター
- ⑤グランドゴルフ大会 11月10日
- ⑥総領事館新旧教育室長歓送迎会 1月23日
- ⑦劉総領事主催 尾高名誉会長卒寿記念祝宴 2月20日
- ⑧総領事館幹部を招き新春懇親会 2月26日
- ◎「吹田日中だより」(第4～7号)発行(季刊)

13) 藤井寺市日中友好協会

- ①通常総会 6月15日
- ②藤井寺市民まつり 9月18日

14) 大阪三島日中友好協会

- ①第2回総会 参加19名 5月15日
- ②摂津市民訪中団友好都市安徽省「蚌埠市」と南京訪問 5名 6月26日～30日
- ③江蘇省主催「日中友好青少年書道展」へ出展
長尾文化担当事務
- ④中秋名月祭へ出演及び出展
辻文化担当事務を中心に「詩吟」 20名出演
北摂ブロックテントへ出展 お茶の販売等実施
売上げ黒字を計上 8名参加
- ⑤第2回「手作り餃子を作り楽しむ会」
茨木公民館調理室 2月18日
- ◎役員会を13回開催

月	府協会活動	全国・関西・領事館など	関連事項
2月	02 高槻市日中 春節の集い(会長) 07 女性委員会 新年会 09 岸和田市日中 春節の集い 10 阪南市日中 春節お祝い会(会長) 13 本部委員会 14 堺日中 春節会 19 池田市日中 新年の集い(会長) 25 運営委員会 25 第3回理事会	03 大阪大学中国人留学生 春節 記念イベント 26～27 老日中西日本の集い (池田 不死王閣)	02～03 ワンワールドフェスティ バル 14 本部 常務理事会 15～17 第52回大阪国際招待卓球 選手権
3月	04～08 緑化検収訪中 (石田和孝、大藪二期) 08 本部委員会 12、21 運営委員会 21 第3回地区協会会長会議	05 中秋明月祭実行委員会 08 2013中日友好女性の集い 総領事館	01 本部常務理事会 14 本部理事会

2013年度 事業計画 (案)

「活動する大阪府日中」

現在、日中両国間の関係は厳しい状況となり、多方面に影響が出ている誠に残念な状況である。このような情勢では、民間団体である友好協会の役割は重要であり、「民を以て官を促す」努力が改めて必要とされている。

大阪府日中友好協会として、本年度は特に次の点に注力する。

I) 大阪府日中として組織の強化

会員相互の友好交流、会員（特に若い人）を増やす努力、財務の強化

II) 「遠い親戚より近くの友人」……地元の華僑・華人、留学生との友好交流を進める

III) 各地区協会との関係強化……各地区協会の特色ある独自の活動と共に、

大阪全体としてより幅広い活動を行い、友好交流の成果を高めていく。

大阪府日中友好協会の活動

(I) 重点活動

1) 中秋明月祭 大阪2013

昨年に引き続き、本年も当協会も主催団体の一つとして積極的に参画する。地区協会と共に、大阪府日中全体となって企画・運営を行ない、華僑華人との友好交流を深める。

史跡 難波宮跡 9/14～15

2) 「第14回日中友好交流会議」 大阪開催

……2014年4月 大阪開催に向けた取り組み……

○大阪市・上海市友好都市締結40周年 (1974. 4. 18)

○2014年春頃

大阪国際会議場にて日中交流会議開催予定

3) 地域における在留中国人、留学生との友好交流を進め、日中友好に資する

(II) その他の活動

1) 【平山郁夫シルクロード美術館を訪ねる旅】

「平山郁夫シルクロード美術館」訪問とワインを味わう

7月5日(金)～7月7日(日) 2泊3日

7月6日(土)～7月7日(日) 1泊2日

2) 日中友好親善ゴルフ大会

4月17日(高槻市日中)、秋(10月頃)

3) スピーチコンテスト大阪府大会

4) 青年部

花見、ビアパーティー、ワンワールドフェスティバル

5) 女性委員会

関西ブロック女性交流会(10月)

6) 中国文化フォーラム、中国語講座の再開

(III) 上海市人民対外友好協会との事業推進

大阪府日中友好協会の運営強化

1) 個人会員に加え、企業法人会員の増強を通じ、より強い組織づくり

2) 財務体質の強化で、会員に魅力ある行事を実施

3) 専門委員会の新設・復活で活動強化

○文化委員会 委員長 戸毛敏美副会長
副委員長 安黒善雄理事

○地区協会委員会 委員長 清水正弘常任理事
副委員長 石田哲男常任理事

本部関係・関西ブロックの活動

1) 本部関係 その他活動

○「漢字の由来」(仮称)展の開催

○巡回写真展

日本中国写真藝術協会の協力を得て

○日中青年書道展の開催(北京)

○本部機関紙「日本と中国」

月3回の発行回数の見直し、6月から月1回に

2) 関西ブロック協議会

○2013年の交流会議は大阪で11月頃に開催

大阪府日中友好協会女性委員会
平成25年度事業計画 (案)

3本の柱(目標)

1 勉強会

日本・中国間の共通のテーマ、あるいは相反する時事問題について話し合う。必要に応じ講師・チューターを招聘、または造詣深い委員も多数おられるので願います。

* 高齢社会と少子化・一人っ子政策とか 尖閣諸島問題など

2 委員間の親睦を図る

* 地域文化を訪ねる(社寺、茶華道、匠の業)、美食を味わう

3 中国駐大阪総領事館女性職員と共に、日本の伝統文化の参観を通じ、交流を図る、中国人留学生や帰国子女らと意見交換を行う。

4 その他

本年の関西ブロック女性交流会は和歌山県白浜温泉。大阪府日中友好女性委員会からも多数参加しましょう。

新年顔合わせ、次年度事業計画作成、反省会、情報交換など。

こんなときだからこそ、母性をもつ我々女性は、世界平和と日中友好を願い、楽しく活動することを目標とする。

勉強会のお知らせ

府日中女性委員会

〈日 時〉 5月15日(水) 13時30分

〈と ころ〉 大阪スカウト会館 3階

(府日中事務局のあるビル)

〈テ ー マ〉 “尖閣諸島問題を考える”

〈講 師〉 大阪府日中副会長
 関西外国語大学元教授

戸毛 敏美氏

■参考図書

「基礎からわかる日本の領土・海洋問題」

中公新書ラクレ出版/編集 読売新聞政治部

今回の勉強会は男性会員の参加も歓迎。
 みんな一緒に考えましょう。

参加希望の方は事務局・柴田まで

TEL:06-6770-0080 FAX:06-6770-0707

e-mail:jcf@mail.infomart.or.jp

『平山郁夫シルクロード美術館を訪ねる旅』 7月5日～7日

山梨県八ヶ岳の麓にある平山郁夫シルクロード美術館で開催される [特別展・シルクロードの饗宴展・・・葡萄とワインの文化をめぐって・・・] を鑑賞し、館長の平山夫人にご講演を頂く予定です。

美術館には、日中友好協会の会長を務められ、文化交流・保護に尽力された故平山郁夫氏がシルクロード各地を旅して製作された絵画や、シルクロードの文化遺産保護のため集められたコレクションが展示されています。今回、1泊2日と2泊3日の2コースを予定しています。詳細は同封チラシをご参照下さい。

皆様のふるってのご参加申し込みをお待ちしています。

「中秋明月祭 大阪2013」

本年も当協会が主催団体として参画

テーマ：《関西から友好》

日中平和友好条約35周年記念



今年は神戸市と天津市が友好交流都市40周年で、来年は大阪市と上海市が40周年ということから『関西から友好』というテーマとしました。昨年、初めて府日中の合同ブースとして出展し、地区協会の皆様と物販にも取り組みました。その経験も活かし、更に多くの皆様のご参加をお願いします。力を合わせて成功させましょう!

●日時：9月14日(土)～15日(日)

●場所：史跡 難波宮跡



友誼交流 レポート



中国駐大阪総領事館から10名が参加

2013年 日中新春互礼会 300名が参加して盛大に

1月17日(木) ホテルニューオータニ大阪 2F「鳳凰の間」にて、一般社団法人日中経済貿易センターと当協会の共催による2013年日中新春互礼会を開催しました。

主催者を代表しての谷井昭雄会長の挨拶の中で、1978年に日中平和友好条約の批准書交換のために来日した鄧小平氏が当時の松下電器産業(株)を訪問した際に揮毫された色紙「中日友好前程似锦(中日友好の前途は錦のように有望だ)」を披露し、それを踏まえて、現在日中関係は厳しい状況にあるが、「未来につながる大局観に立ち、お互いの違いを認め合いながら、共通の場を根気よく広げていく努力が大切だ」と述べた。

来賓代表として、中国駐大阪総領事館のコンドズ・ユスフ副総領事と大阪府の総山哲男副知事が祝辞を述べられ、乾杯の発声を日中経済貿易センターの村山敦会長がされた。当日は305名の参加者があり、非常に盛会で、会場では「こういう状況で、もっと出来ることを一緒に協力してやっていきたい」との声が上がった。



会場で谷井会長 コンドズ・ユスフ副総領事



初期の活動家が集まって “老日中 西日本の集い”開催

2月26日、池田市の山間の閑静な少し春らしさが感じられる「不死王閣」に、東京老日中の白西紳一郎、韓慶愈両氏や名古屋から岡崎温氏の参加があり31名が集う。神戸大学の山田敬三名誉教授の「尖閣について」の講演、懐かしい「東京—北京」の歌の話もあった。そしてそれぞれ近況などを話し合った。その間に温泉に入り、一緒になべ料理をつつき、わいわいがやがや、宿泊組はそのあともいつまでも。今までも日中関係には困難なことがたびたびあったが、それにめげず頑張ってきたという人々の集まりだった。

今までも、協会創世期より長年にわたり日中友好活動に携わってきた長老の方がた(日本人と華僑)の知恵で、府県にとらわれず「一度集まって」ということがたびたび開催された。今回は昨年秋、長年日中友好の先頭にたつてこられた藤尾昭氏より、「島問題」で日中関係が困難に面している今、「生存者が少なくなっているが、集まろう」との提案がされた。そして、藤尾昭、金鞆、辻井誠行、石良成、仁賀武志、曾昇龍、石田武夫の日中7氏が呼びかけ人となり、この集まりが20年ぶりに実現した。

第3回地区協会会長会議を開催

2012年度第3回目となる地区協会会長会議が3月21日(木)大阪スカウト会館で開催された。大阪府下にある地区協会の会長及び代理の方など、総勢26名が集い、府日中からの報告事項や機関紙、中秋明月祭についてなど、率直な意見交換が行われ、非常に有意義な会議となった。

今後、さらに各地区協会と密接な連携を進めていくことが確認された。



会議の冒頭、挨拶をする谷井会長

約50名が参加して 日中平和条約締結35周年記念 「花見会」

3月30日、昨年9月に日中国交正常化40周年記念植樹を行なった大阪城公園こま犬前に集合して大阪華僑総会、中国人留学生の皆さんと、好天に恵まれた空の下、桜や桃園の見事な桃の花を鑑賞しながら天満橋「錦城閣」まで花見の散歩をしました。当協会からは小田眞弘副理事長、大藪二郎副理事長、藤井事務局長が参加し、計50名程が集まりました。



大阪城をバックに記念撮影

中国総領事館で 国際婦人デー祝賀レセプション

3月8日、中華人民共和国駐大阪総領事館に於いて、恒例となっている国際婦人デーの集いにご招待を受け、当協会から川上和女性委員長はじめ4名が参加しました。各界の婦人代表100人余りと領事館の女性の参加がありました。

はじめに劉毅仁総領事からご挨拶がありました。「皆様に祝日のお祝いを申し上げます。また両国間の女性交流のご尽力に賛同し、出席の皆様は女性のエネルギーを発揮し、中日の民間交流の発展を推進されるよう希望します。現在中国の女性外交官は1,500名います。この内20名以上は総領事で、全国人民代表は23%が女性であります。昨年、宇宙ヘロケットが発射され、宇宙飛行士3人が乗り込みましたが、その内の1人は女性であります。このように女性の活躍は大変目覚ましい」と、中国国内や世界の国々のさまざまな分野で能力を発揮している中国の女性の様子が報告され、日中両国の女性の活躍・友好交流も讃えられました。

また総領事の両脇にはいつも女性の副総領事がいて、日々華やかで楽しいと冗談を交えてのお言葉には皆の心が和み、一気に会場の緊張も解きほぐされた感じがしました。そして女性の役割は大きく、民間交流の源であり、皆様のますますのご活躍を希望しますと結ばれました。懇談に移り、予定の時間まで有意義に過ごし、次回の再会を楽しみに名残を惜しみながら散会しました。

(女性委員会副委員長・実原照子)

日中緑化検収訪中団同行記

わが協会は、日中緑化交流基金(通称:小淵基金)の助成を受け、10数年にわたり中国での植樹活動を行ってきており、その成果は大きかった。

ところが昨年度の中国側からの報告がなく困った事態になり、はっきりしないまま6カ月がたった。

そこで、大藪と石田和孝常務理事の2名が3月4日から8日まで、実情をつかむため張家口、潮州の2カ所を訪問した。

張家口市は、北京空港から2時間半、中国緑化交



張家口にて
中央が石田氏



潮州にて マン
グローブを持つ
石田氏

流基金会の費勇処長が運転する車で出かけ、高速を降りた懷来県で中国緑化交流基金会・楊旭東副秘書長、地元張家口の関係者と合流した。そのまま、ブドウ畑の中の地道を縫って植樹現場へ向かう。日が西に傾かんとする4時ごろであったが、早速検収をする。寒さ対策で土に埋もれた杏と側柏の植樹は計画とおりで合格。5日4時ごろ北京に戻る。その夜、楊旭東副秘書長が主催する招宴があり、長年担当していただき退職された王九淵氏、橋渡し役の中日友好協会・程海波交流部長らも同席した。石田和孝氏は、父君の石田善雄氏（2月逝去、享年87歳）への弔電にお礼を述べられた。

故石田善雄氏は1992年の国交正常化20周年を記念して、北京で10年間緑化事業を行い、中国緑化基金会から「緑の友好使者」の称号を授与された方である。

6日、北京から約3時間で新しい汕頭空港へ。そこから車で約2時間、潮州市の緑島旅遊山荘に到着。詹松輝副県長はじめ関係者との歓迎夕食会。

翌朝、カニなどの養殖場が広がる場所を抜けて海岸べりのマングローブの植樹場所へ。残念ながら、マングローブは見当たらない、台風と塩害の影響でうまく育たなかったので別のところに移したとということで、その場所も確認する。もう一件の場所にも行くが、数本のマングローブしか見当たらない。関係者と現場で話し合い、1年計画をずらして再植樹をし、報告してもらうことを確認する。

上海には、汕頭からフライトが遅れて浦東空港に到着したのが10時を回っていたが、上海市人民対外友好協会の朱政寧理事が出迎えてくれ、南京西路のホテルに着いた時は0時を過ぎていた。

8日の昼は、上海市人民対外友好協会の曹海炯日本処副処長が、濮勤綱常務理事、朱政寧理事とともに、歓迎昼食会を催してくださった。

(副理事長・大藪二郎)



曹海炯日本処副処長(右2人目)、濮勤綱常務理事(右端)、朱政寧理事(左端)、費勇 緑化基金処長(左3人目)

高槻市日中のお世話で 日中友好親善ゴルフコンペ

4月17日、15回目となる日中親善ゴルフコンペを高槻市日中のお世話で、関西カントリークラブで開催。総領事館からは劉毅仁総領事、牛興茂領事、趙大為領事、季笑宇領事の4名が参加して下さり、谷井会長を含め総勢26名となりました。今回の優勝者は枚方市日中友好協会から参加の奥野稔さんでした。

次回は秋に予定されております。次回も多数ご参加頂けることを期待しております。



張梅新政治文化室長が 表敬訪問

殷達奇領事の後任の、駐大阪中国総領事館政治文化室室長として張梅領事が着任され、4月2日に当協会事務所を訪問されました。張梅領事は、これまで何度も中国政府トップと日本の要人との通訳を任せられるほど日本語が達者で、中国政府外交部門でNo.1と言われているそうです。

天津市のご出身で、
1996年 北京大学東方学学部日本語学科卒業、中華全国青年連合会国際部に就職、日本の青年団体との友好交流を担当
2005年 外交部アジア局に勤務され
2010年 外交部アジア局日本処副処長、そして今回のご赴任となりました。



中央左側 コンドズ・ユスフ副総領事 右側 張梅領事
府日中事務所にて谷井会長、小田副理事長、大数副理事長らと

青年部 花見会中止し 餃子づくりパーティー

府日中青年部が板橋吉弘青年部長を中心に10名が集まり、4月7日に餃子作りパーティーを開催しました。当初は花見会の予定でしたが、悪天候が予想されたので、急遽、室内でも出来る行事に変更したものです。初体験の方もいて、楽しく過ごしました。



会・員・消・息

東久継さん(評議員)を 上海で刊行の書籍が紹介

上海で刊行された日本語書籍「上海の日本文化地図」の「新時代における文化交流」の項に、当協会評議員の東久継さんが紹介されています。

奈良で機械と部品を製造する会社を経営していた東さんが、3年間に及ぶ綿密な市場調査の末、1991年11月に「上海東華針織機有限公司」を設立、幾多の危機を中国の友人たちの支援と友情で乗り切って有力企業に発展させた経緯が「ある創業者の上海体験」として紹介されています。その後大病を機に信頼する中国人幹部に経営を委ねましたが、現在も会社は順調に発展しているそうです。「私の自慢は社員の勤続年数の長さである」という言葉が印象的です。

東さんの趣味は写真撮影。ランドクルーザーで中国各地へ撮影旅行「中国の全省へ行きましたよ」と以前にお聞きしました。

なお、毎年忘年会などでお渡ししている、東さん撮影の中国風景と当協会名入りの日中共同カレンダーは、東さんから寄贈いただいているものです。この機会に改めて御礼申し上げます。

(中務)



池田市日中

新会長のもと 「新年の集い」盛大に

5月には同済大学生のホームステイ

池田市日中友好協会の2013年は「新年の集い」で始まった。倉田新会長に交代して年が明け、最初のイベントであった。井上副会長の司会進行で、駐大阪中国総領事館の王領事と胡領事アタッシュェが紹介された。池田市からは小南市長をはじめ、副議長や議員、職員の他、会員等総勢88名の参加で新春の火蓋をきった。

特筆すると、池田市の友好都市蘇州市から外事弁公室友好都市処副処長の曹静さん一家とご両親を伴う7名が訪日旅行のさ中、特別参加されたことだ。曹静さんは「一度にこのような大勢の友人達とお会いでき、和気藹々の雰囲気の中で迎春できたことは、本当に嬉しい。家族と両親達は初めてこのようなイベントに参加させていただき、非常に感動しました。国と国の外交情勢が緊張しつつあるようですが、民間の友情は本当に何の変わりもなく、心温かい歓迎をたくさんいただき、非常に喜び感激しました。」と帰国後に御礼メールが届いた。藤尾名誉会長夫妻の特別な計らいには、「感謝の気持ちを表し尽くせません。」とある。そして、「これからの両市友好交流と中日友好に、今回の感謝の気持ちを込めて、より一層頑張ります。」と結んであった。

市政府職員とはいえ私的な訪日旅行ということもあり、池田市日中が「招聘状」を起票した。駐上海日本総領事館に無事受理され今回の来日になったが、府日中と市役所の協力を得て、協会にとっては「招聘状」を書く自信にも繋がった。

さて例年新緑の5月頃、上海から同済大学日本語学部の学生が実践日本語研修で池田市にホームステイを行う。日中間の不穏な外交関係の中であって、今年も訪日研修は学生達の相変わらず根強い人気に支えられ、選良12名が教授と共にやって来る。2001年から継続しているこの事業は、池田市日中の理事で高倉康一同済大学客員教授の起案と、「いけだ国際

本中国友好協会



新年の集い
曹静さん家族と倉田会長

交流友の会」(旧池田ホームステイ友の会、1982年設立)との協業なくしては成り立たないほど、定着した。

ところで尖閣諸島問題。けん制行動で一触即発の領土問題は、民間交流で根治するような類の事案ではない。支配していることと領土であることは異なる。支配しているということは領土ではないとも言える。

問題が発生するところには双方の言い分がある。双方とは国民と国民かもしれないが、国と国に他ならない。多点交差の民間交流ではなく、一点突破の国間交渉こそが解決の道筋をつけることができる。両国政府はしっかり対応してもらいたい。

(池田市日中友好協会・大塚寛治)

枚方市日中

親睦ゴルフコンペと 新年会を開催

1月29日、第17回親睦ゴルフコンペおよび新年会を開催しました。ゴルフには会員15名が参加し穏やかな天候の中、枚方国際ゴルフクラブで交流を深め、



ゴルフコンペ・(於) 枚方国際ゴルフクラブ

激戦の結果、優勝奥本晃久氏、準優勝奥野稔氏、3位川辺忍氏が好成績の記録を残しました。

新年会は枚方市駅前の「がんこ」で開かれ34名の参加がありました。来賓代表の竹内脩枚方市長からは、近隣諸国との善隣友好が枚方市の国際交流の進歩につながるという話。

山中卓枚方市日中友好協会会長からは、領土問題により滞っている日中の交流を再開するのが狙いだが、それには我われ枚方市日中友好協会の会員一人ひとりが中国の考え方を理解しながら新しく日中の友好を深め、親睦を図りながら進めて生きたい、また「淀川の舟下り」の検討や関西外国語大学の留学生との「中秋名月祭」での交流会を今後も続ける話。谷井昭雄NPO大阪府日中友好協会会長からは、今非常に厳しい状況の中で、加藤(公社)日中友好協会会長、山口公明党代表はこじれている日中関係を少しでも良くする努力をされており、過去には良い時も緊張する時があったが、手を握り合える日が早く来るとよい。お役所同士のお付き合いはあるが、一般の国民は民と民がまず仲良くした伝統と歴史があり、大阪には14の地区協会がある。枚方は枚方で中国と独自の交流をしていただき、大阪は大阪で、日本は日本でそれぞれが仲良くする時に発展がある。喧嘩はお互い不幸である。大阪では府下の全会員を集める企画をしており、少しでも良い1年になるよう枚方市の会員のご活躍を期待している、とのご挨拶をいただきました。

また、ご出席いただいた戸毛敏美大阪府日中友好協会副会長が、関西外国語大学から「ベストティーチャー賞」を受けられたことを、参加者全員で祝福しました。

歓談中に、日中の活動は上の方の交流だけだろうか？というお話や、島根県隠岐の宣伝などがありましたが、森田洋子理事からは、関っている帰国者の孫や就労で来日している中国人の子供たちが小学校で抱えている課題についてのお話がありました。

「中国にいるときは優秀な子でも、日本の学校に入学してからは言葉の壁に阻まれて苦労しています。日本語習得のためのサポートを受けていますが、日本語は複雑で難しいようです。中には努力してよい成績を取っても、経済的な理由から高校へ進学できない子供も大勢います。将来日本、中国どちらで暮らすにしても、彼らは次世代の大切な人材であり、日中の懸け橋になってほしい人たちです。何らかの

形で支援することができないでしょうか。そして居住地にあっては帰国者の方を含めて日本人との交流がほとんどない方が多いと聞いています。生活習慣や文化の違いから、日本人との摩擦も起こりがちだそうです。お互いに、日本人は、中国人はと画一的な見方言い方が多いのですが、相互理解しあえるような活動を企画するのも日中友好に関っている我われの大切な取り組みだと思います」とのお話に、谷井会長をはじめ参加者全員が真剣に耳を傾けました。

最後に、川辺忍副会長の「格調高い行事を期待してください」という力強いお言葉でお開きとなりました。(理事・山根祐治)

八尾市日中

上海嘉定区からの 交換職員を

八尾に迎えました

当協会では、1月28日(月)に当市内の料亭山徳において会員相互の交流と親睦を一層深めるため、「新春懇親会」を開催いたしました。

当日は、八尾市の山本副市長、大阪府日本中国友好協会の林理事長をはじめ多数のご来賓の皆さまにもご出席いただき、終始和やかにご歓談いただきました。

また、八尾市と上海市の交換職員として、3月4日から13日までの日程で、上海市嘉定区より人民政府弁公室の繆海英(ミュウ カイエイ)科長さんが来日されました。

この制度は、姉妹都市である両市が、相互に職員を研修の為に派遣するもので、本年度は同女史が、八尾市役所の庁内管理体制や市民サービスなどについての研修を受けられ、その研修の一環として、3



繆海英さん、田中会長とFM番組に

月8日(金)に田中会長と共に市内のコミュニティFM放送局「FMちゃお」の番組に出演されました。

繆科長さんからは、国際的な自動車の町としての一面もある嘉定区の現状や日本の印象などを通訳を交えてお話いただきました。

田中会長からは、当協会の略歴や上海市嘉定区との交流の歴史などについて語っていただき、協会の活動内容を市民の皆さんに広くPRいただきました。
(事務局)

高
槻
市
日
中

「創立30周年記念誌」を刊行 「日中友好春節の集い」を開催

昨年5月、当協会は創立30周年を迎え記念事業の第1弾として式典やアトラクション、レセプションを実施した。このことは「大阪と中国」9月1日発行の227号で既報済みなので、ここでの紹介は省略する。

さて、第2弾として記念誌を発行することになった。予算については、6月の定期総会で費用の一部を別途積立金から80万円を取り崩すことで了承を得たほか、協賛広告を依頼することになった。編集内容については、当初モノクロで32ページか36ページを想定していたが、記念事業実行委員や副会長らとの協議の末、せっかく10年ぶりに作成するのに価値ある見栄えのよいものにすることになった。

まず、掲載内容の第1部としては創立以来20年間と、第2部として内部役員への挨拶文の依頼、外部関係者からの祝辞の寄稿、21年目からの10年間と、第3部として協賛広告に大別した。

第1部の原稿は、幸い先輩役員が20年間の出来事を克明に記録されていたのを要約版として編纂したものに社会の出来事を併記することで、協会の動きを一層理解いただくよう務めた。第2部では10年間の総会資料をベースに要点を漏らさずはぐらかさず、しかも簡潔をモットーに各年度における活動・運営状況を網羅するよう心掛けた。第3部協賛広告には、関係企業へのお願いに副会長や理事、委員を煩わした。表紙は当協会の監事に題字と常州市のスケッチをお願いし、結果として体裁は総数40ページ、表紙と内部要の部分にカラーを配し、A4判200部を「たゆまぬ友好30年」として、2月1日刊行の運びとなっ

た。今後は、本誌が協会の活動や運営の道標として、幅広く活用されることを望んでいる。2月2日「日中友好新年の集い」の席上出席来賓、会員に手渡した。

「日中友好会員の集い」は、従来の「新年賀詞交歓会」を改称し、会場は中華菜館で開催。来賓には中国総領事館から王磊領事、宋雄偉領事、NPO大阪府日中友好協会から谷井昭雄会長と日根野文三副理事長、高槻市議会・中浜実議長(当協会理事)、そして大阪府立槻の木高校・浅田和也教頭に会員ら42人が出席。今年は期日を遅らし会場を変えての開催だったが、料理の評価も上々で和やかに全員で新年を祝った。
(理事・笹井 宏)



高槻市日中 創立30周年記念誌

堺
日
中

創立30周年を みんなで祝うことを第一に

堺日中友好協会の新年は、春節を祝う会員の集いで始まります。

この冬は、厳しい寒さが続きましたが、「会員の集い」の2月14日は比較的穏やかな日で春節を祝うにふさわしい日となりました。

今年は堺日中友好協会の創立30周年と同時に堺市と中国・連雲港市との友好都市提携30周年の年に当たりますが、現下の日中国家間の緊張状態から、友好都市関係の祝賀行事については見通しが困難となっています。

そこで、当協会としては、創立30周年を会員みんなで祝うことを第一とし、多くの会員に喜んでもらえる行事を積極的に推進したいと考えています。そのため、今回の「会員の集い」も、より多くの会員



中国語受講生によるコーラス

に参加してもらえよう、参加費を若干割安とし、会場も交通至便な場所としました。

従来一流ホテルから繁華街の中華料理店に変更したことで、会場は多少手狭になりましたが、春節の情緒をより満喫していただけたと思っています。

中国総領事館からは、昨年引き続き劉馳さんと胡元元さんに来ていただき、和気藹々の中で日中友好を深められる楽しい催しとなりました。

アトラクションの二胡演奏会の後、大阪府日中協会の林昭嘉理事長（当協会名誉顧問）の乾杯発声により懇親会に入りました。

宴では、円卓での中華料理やふるまい紹興酒を楽しみながら、中国語受講生らによるコーラスや飛び入り会員の歌や踊りもあり、高齢のビンゴゲームによる景品争奪戦では全員興奮の大盛り上がりとなりました。

帰りには、当協会オリジナルカレンダーと会場となった楓林閣提供の月餅をおみやげに「参加して良かった」と思っていただけでした。

このあと4月7日には泉州地域の各日中友好協会会員の方々にも呼びかけての堺環濠クルーズに乗船しての「お花見」を計画していましたが、残念ながら悪天候のため中止。このほか会員から要請のあった餃子パーティーなどにも取り組み、会員同士が楽しめる事業を数多く開催して、創立30周年を意義ある年にしたいと考えていますので、皆様方のご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

（会長・曾我部篤爾）

岸和田市日中

“春節の集い”など 3つの催しを開催

2月9日、午後6時から地元で演奏会などに利されているCafé“のだて”のホールにおいて春節の集いを開催、23名が出席しました。



来賓の大藪二郎大阪府日中副理事長から挨拶を頂き、その中で最近の日中間の緊張状態の中での日中友好協会のはたす役割などに言及されました。

角谷真紀代さんの二胡の演奏で始まり日本中国双方の曲が演奏され、後半は三味線民謡クラブの方々の演奏と唄があり、今回は日中両国の楽器を使っての演奏となり、この催しにふさわしいアトラクションでした。会場は防音設備も整っており、演者との距離も近く迫力が感じられました。

最後に全員で記念写真を撮り、散会となりました。

泉州国際市民マラソンに出場する岸和田市招待選手の歓迎会を、2月15日にグランドホールにおいて、例年通り岸和田市国際親善協会、同日韓親善協会、同日中友好協会の3団体共催で行ないました。

今回は、広東省汕頭市と上海市楊浦区の友好都市からの参加がなく残念でした。

ここにも日中両国の関係が影を落としております。

マラソン参加選手は韓国ソウル特別市永登浦区の2名で、当協会からは中村会長以下8名が出席し選手・関係者と交流を深めることができました。

3月14日、日中国交正常化40周年を記念して開催された神戸市立博物館の“中国王朝の至宝”展を、チャーターバスを利用して参観しました。

中国最古の王朝、夏の時代から宋に至る王朝の代

表的な一級文物（国宝級）168件が展示されていて、中国古代の人々の微細な技巧と桁はずれた独創性を眼を見はりました。

特に南京市長干寺の地下から出土した仏塔阿育王塔は、日本初公開で眼を引きよせられました。

他にも精巧な純金製仮面（殷～西周BC12～10世紀）、ユーモラスな酒容器、犧尊（戦国時代BC 4～3世紀）、勇猛な兵士俑、跪射俑（BC 3世紀）、河童のような嘴をもった羽人（BC 4世紀）など、日本の縄文・弥生時代において、中国大陸では高度な文化を花咲かせていたことに驚嘆しました。

参観後、ノーベル賞の受賞晩餐会で話題になった「福寿大吟醸」を醸造している神戸酒心館を訪れ、季節の豆富料理で会食、粕汁・とろ湯葉などとてもおいしくみな大満足でした。

次に北野工房を訪ねました。もともとは歴史のある旧北野小学校を工房に改装したもので、館内も明治期の校舎の面影をしっかりと残し、さまざまな創作体験コーナーがつくられております。天候にも恵まれ、歴史を学び触れて、童心にかえった良き一日で和やかな良い交流が出来ました。

（副会長・升谷 和明）

河内長野市日中

恒例のバスツアー 神戸へ

秋には「奥河内ぶたまん」 本格発売

3月23日（土）河内長野市日中友好協会恒例のバスツアーを実施しました。

河内長野市日中友好協会は昨年から今年にかけて2名の（若い）新会員を獲得するという嬉しいニュースもありましたが、中心メンバーが次々に病魔に倒れるという厳しい事態に直面しました。恒例のバスツアーもそのことにより大幅に参加者が減り、実施できるか、最後まで危うい情勢でしたが、事務局長が退院してきたばかりの理事会員宅を訪ね、車椅子まで用意する勢いで半ば強引に参加を取り付けたことが発端となり、他の役員の方々も大いに発奮し、友人を次々と誘ってくれました。

結果として当日15名の参加者となり、無事バスツアーを行うことができました。

コースは神戸市立博物館で日中国交正常化40周年記念の特別展「中国王朝の至宝」をじっくり堪能し



河内長野市日中会員と 神戸市立博物館前にて

た後、午後は神戸北野にある東天閣（異人館）にて本格中華料理に舌鼓を打ちました。

おかげさまで天候にも恵まれ、一人の体調不良者を出すことなく、そして心配された病み上がりの理事も機嫌よくバスツアーを満喫されました。

次は秋のイベントに市日中の戦略商品である「奥河内ぶたまん」の本格参入を果たしたいと目論んでいます。

日中国交正常化40周年の佳節をなかなか寿ぐことのできない状況が両国間にありますがこれからも河内長野市日中友好協会は涓滴岩を穿つ両国の先人達の途方もない努力を忘れることなく、少しでも友好が深まるよう事業展開をしていきます。

（会長・大原一郎）

阪南市日中

「身近な交流」を めざした春節会

中国との直接交流も模索中

2月10日、いつもの池田泉州銀行淡輪寮で恒例の春節お祝い会を開催しました。

参加者は、初めて当協会にお迎えする谷井昭雄大阪府日中会長をはじめ、関西日中平和友好会の見本会長と許副会長、阪南市教育委員会代表などの来賓を含めてこれまで最多の56名。その中には宅明彰子理事の和歌山外国語学校の教え子である中国人留学生たち、中国出身の会員・谷和敏美さん紹介の地域在住の中国人、会員の友人の中国人、大阪府日中や全国日中の青少年交流団で訪中した高校・大学生も含む多彩な顔ぶれです。

尖閣諸島問題に端を発して日中間の交流が停滞、昨年計画した2件の小学生交流が中止になるなど協

会活動に影響が出ている中で、当協会がめざす草の根交流を進めるには、まず身近な中国人との交流をはかり、その人たちを少しでも元気付け支援しようとの考えから、例年以上に盛大な会を企画したものです。

谷井会長からも、大阪府日中としては今年は華僑、在留中国人、留学生など身近の中国人との交流事業を積極的に進める予定であり、地区協会のみなさんにもご協力をお願いしたいとのご挨拶をいただき、わが意を得た思いでした。

はじめのプログラムは、一昨年が続いて阪南市出身の桂ひろばさんの落語とマジック。ナマの落語を聞くのは初めての人が多かったようですが、中国人の反響は上々、楽しい雰囲気広がりました。

続いて定番のすきやきパーティー。中国人にはなじみの薄いすきやきの煮方、食べ方を教え合ったりして、賑やかな歓談の輪が広がりました。会員のみなさん提供の景品によるビンゴゲームも好評。バレンタインデーが近いとあって、学生さんたちにはチョコレートをプレゼント。楽しく和やかな時間があっという間に過ぎました。

このあと、ほぼ毎月開催のハイキングは、3月21日の和歌山市内史跡めぐり。26日には神戸で開かれている「中国王朝の至宝」展へ。展示内容のすばらしさもさることながら、入場者の多さにはおどろきました。嫌中、反中のムードが高い中でも、中国の優れた文化に対する関心、敬意を抱く人はやはり多いのだと意を強くしたものです。

こうして始まった2013年。政治的な情勢はまだまだ厳しいものがありますが、中国側との直接交流も模索したいと思っています。1993年以来密接な交流のある蘇州市呉中区からは、丁寧な新年メッセージも届いています。状況を見ながら計画を進めるつもりです。
(会長・明石 啓)



桂ひろばさんの落語を聴く

熊取町日中

学びも交流も深めて



餃子の具づくりに挑戦です！

新年の活動は、1月12日(土)「杜甫一風になった男一」というテーマの樫井賢一当協会理事長の講演会で開始。杜甫と芭蕉の作品を対比しながら、両者の生き方を解説、『死して風 生きて夕焼けかもめかな』60歳の氏の自作も交えて、世界中どこまでも、永遠に吹き続ける風になったと杜甫を論じた。氏のブロークンな中国語の朗読に加え、砂川維豪・畢金全両氏のネイティブの杜甫の詩の朗読の鑑賞が叶った講演会となった。

3月9日(土)「魯迅と毛沢東が『漢字が減ばなければ中国が減びる。』この考えにかの倉石先生も50パーセント足を踏み入れた」のショッキングな話題から切り込まれた「現代中国の文字 簡体字とピンイン」についての廣瀬省三副会長による講演会。いつもながら、貴重な大部の資料や文献をご用意いただき、手に取って見せていただく。

文字改革100年の歴史を年表にそって解説。「簡体字とピンインは、皆で作った文化財」とまとめられ、コンピュータの出現による若者世代の漢字の復権のお話も新鮮であった。

前後しますが、2月3日(日)は春節餃子パーティ。砂川維豪・以令夫妻のご指導のもと餃子作りに勤しむ。今回は、堺日中の曾我部様と石田様にも朝早くからご参加いただき、作業と共に会話も弾む。4月7日(日)の難波官跡などの花見旅行の予定を急遽変更して、堺市の古墳めぐりと環濠クルーズを楽しむことになった。身近にいながら、あまり触れる機会がなかった堺の歴史を学び、堺日中の皆様との交流

を深めることも更なる楽しみです。

(事務局長・有岡トシエ)

松原市日中

京都嵐山

～周恩来記念詩碑を

訪ねて～



4月7日 嵐山公園 周恩来記念詩碑前にて

皆様方のご支援と交流の和に華を咲かせる思いで、京都嵐山公園に建立「周恩来記念詩碑」を、40年前の日中国交正常化に先賢達の“飲水思源”を馳せ、桜爛漫の京都嵐山公園へ駐大阪総領事館の政治文化室長・張梅領事、京都地区中国留学生学友会・崔永強会長、関大中国留学生学友会・牛鏜会長、大阪府日中より田中潤治副会長他同行して訪ねて参りました。

4月7日(日)の午前中は春の嵐で雨風の中混み合うこともなく、駅前近くのお店に場所を変更して天候を見据えて、昼食会の和で崔永強会長の乾杯で頂き、時間と共に天候にも晴れ間が見え一路徒歩で公園へと移動開始致しました。

すぐ近くの公園内にあります“日中不再戦”の詩碑から、渡月橋～周恩来記念詩碑へと春風に桜吹雪の舞う中を徒歩で訪ね回り、その後同公園近くのトロッコ列車・竹の小道・世界文化遺産など春の嵐山公園の各名所へと散会致しました。

今回の企画に紙面をお借りして京都府日中、関西の各中国留学生学友会、駐大阪総領事館、会員の皆様にお礼を申し上げます。

これからも感謝の気持ちで子々孫々へと民間交流の架け橋として日中の華を咲かせたいと願っております。

感謝

(会長・牛浜龍男)

豊中市日中

「西村真琴と魯迅そして日本の友人たち」展の開催について

展示会の開催に当たり、大阪府日中友好協会と北摂5地区協会が主催団体となり、上海魯迅記念館と連携して資料の収集、展示資料の作成、シンポジウムの企画、そして会場設営などを行い、昨年12月16日から19日まで開催することになりました。

しかし、尖閣問題及び反日デモを受けて、準備万端整った矢先に、上海魯迅記念館より延期の申し入れがあり、11月2日に実行委員会を開催して延期を決めました。

以来6カ月余が経過した現在、今年に入り日中民間の交流も始まり、日中両国政府のトップの交替もありました。また今年、日中平和友好条約締結35周年、西村真琴生誕130周年、魯迅「題三義塔」作詩80年という記念すべき年に当たります。私達日中友好協会は純民間団体であり「民を以って官を促す」時期に来ていると思います。その事を認識して、主催団体と、後援団体の中華人民共和国駐大阪総領事館、大阪府、豊中市をはじめ関係行政、毎日新聞社などとよく協議して、開催方法を再検討して、実施が出来るように取り組んでまいり所存です。関係各位のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。(豊中市日中 実行委員長・清水正弘)

吹田市日中

7年目になった「火鍋大会」

3月9日(土)、吹田市江坂に所在します中国駐大阪総領事館教育室の大会議室で恒例の「火鍋大会」を開催しました。「火鍋」という名から受ける印象は大層に聞こえますが、中国の表現です。本来私達は寄せ鍋、鴨鍋、ふぐ鍋など食材に合った呼び名をつけて、土鍋を5、6人で囲み、寒い時期身も心も温まる団らん料理を楽しみます。

「火鍋大会」と名付けたこの催しは、今年で7年になりました。教育室で使う大振りの土鍋は、飲食店を経営されていた会員さんから頂いたもので、大変



3月9日 総領事館教育室の会議室にて火鍋大会

上質の土鍋です。ところで中国の土鍋は沙鍋 (shagu) といいますが、日本の鍋のような形をした鍋には余り出会いません。そのかわり漢方薬を煎じるツボのような形をした鍋をよく見かけます。沙鍋という字のごとく砂のイメージで、日本の鍋に使われる粘性のある原料土は少ないと聞きます。日本の食文化に触れていただくという意味も含め、領事館にお譲りすることになりました。そして留学生の人たちにも鍋料理文化?の伝統を、と思いました。

今年は、木津市場からアンコウを仕入れたアンコウ鍋、朝引き鳥を使ったちゃんこ鍋、佐賀牛の牛シャブ鍋と、鍋めぐりをしながら領事館の皆さん、中国人留学生と日中友好交流ができました。

来年は東日本大震災三年忌になります東北地方に伝わるしょつつる鍋、ハタハタ鍋の調理を勉強し、施餓鬼供養としては、という意見もいただきました。

6時から始まりました鍋大会も、例年通り大盛會に盛り上がり、参加した27名はほかほか満腹友好交流で8時半楽しい幕を降ろしました。

(吹田市日中・友好交流部)

大阪三島日中

「手作り餃子を作り 食する会」開催 大好評！

茨木市と摂津市を地域として「大阪三島日中友好協会」は、府下14番目の地区協として、2011年5月7日に設立され2年になります。

2012年度役員会は毎月第一月曜日（原則）に開催し、4月7日で11回を数えました。役員を中心に府日中友好協会や北摂地域の各協会、中国総領事館などの様々な活動に参加してきました。

会員も個人、団体、賛助会員を合わせて20名を超

えています。今後とも会員拡大へ向けて役員一同頑張っています。

2月18日(月)午前、昨年度大好評でした「中国家庭料理水餃子を作り食する会」を茨木公民館で、茨木・摂津市民14名の参加で開催。昨年に続き講師は「曾麗紅」さん、(株)五大陸の「孫媛」さんに応援を戴きました。今回は「海老餃子」に挑戦。講師の指導の下、全員で楽しく餃子の皮作り手作りから具材を作り、餃子の形にしていきましたが、作る人によりさまざまな形の海老餃子が完成。早速釜茹でし、熱々の海老餃子と「トマトと卵のスープ中華風」を全員で試食しました。出来上がりは上々。「水餃子ってこんなに美味しいと初めて知りました」「これなら手軽に作って家族に食べさせられる」などなど参加者から歓声が上がり、今回は少し多めに作り、自宅へ持ち帰り家族にも美味しい本場中国水餃子を堪能してもらうことにしました。「次回も是非参加したい」「次回は何時ですか」などの要望も出され、事務局として来年もやるぞ!と決意。

また、食事に合わせて「中国茶・ウーロン茶」をだしたところ、大変好評で販売も順調。

大友会長から「今後も大阪三島日中友好協会の様々な活動に参加下さい」と締めくくりの挨拶があり、参加者全員で記念写真を撮影し終了しました。

(事務局長・江原 均)



餃子の会 大友会長を囲んで



MY OPINION

日本留学を実現した 中国人留学生との再会に感謝して

池田市日中の高倉理事主導のもと、上海同济大学日本語学部学生のホームステイ研修で来日する学生達は、池田市日中友好協会会員の心温まる歓迎と綿密な計画によって14年間の長期にわたりプログラムを続け、日中相互理解に貢献されています。豊中日中でも可能性があれば池田に学び計画実現を計りたいと考えておりました矢先、豊中日中で学生をホストできないかとの問い合わせが池田市日中からあり、これはチャンス到来と早々に協力を申し入れ、昨年5月、3名の学生を引き受け、その内2名の学生との交流が我が家で行われることになりました。

7泊8日の短期間でしたが彼女達にお父さんと慕われ、こそばゆい思いをしながら毎晩遅くまで中国と日本について討論を重ね、相互の理解に務めてまいりましたが、彼女達に日本文化の深層に触れたいとの希望がますます高まって行くのが目に見え、留学を希望するなら協力したいと申し出をいたしましたところ、帰国後直ちに日本での留学実現に最善を尽くし、必ず再訪日を果たすことを約束してくれました。本当に彼女達と過ごした一週間は生涯忘れがたい楽しいものとなりました。その後何通かのメールで着々と留学の準備段階を知らしては参りましたが、ついに嬉しい知らせが本年1月末、次の様なメールで連絡が参りました。

お父さん元気ですか？ 期末レポートも留学手続きもようやく終わり、やっと心が落ち着いて嬉しいです。4月から交換留学生として大阪大学に留学します。大阪に到着したら約束通りお父さんとお母さんに会いに行きます。到着日時は3月31日、関空に12時30分に到着です。皆さんとまた話しが出来るのが楽しみです。
江 雪 より

勿論、関西空港まで家内と出迎えに参りました。ニコニコしながら元気な姿で現れた彼女達と家内が抱き合う姿に感動を覚え、一瞬にして一年間の空白は埋まりました。

この感動を留学期間中、可能な限りのお手伝いをすることで、返したいと誓いを新たにし、この様な機会を与えて頂きました池田市日中友好協会の素晴らしい



我が家で着物に着替えて
留学実現に嬉しそうです。
左側 江 雪さん 大阪大学に留学
右側 何 暁静さん 日本大学に留学

青少年交流活動に心から感謝申し上げ、今後も大変ご苦勞が伴うとは思いますが、日中の相互理解のためにも続けられることを心からご期待いたします。

(豊中市日中会長・田中 潤治)



日中の子ども達の心をつなぐ絵手紙

私は小学校で図工を担当し、毎年「思いを伝え、心をつなぐ絵手紙」に取り組んでいます。

日頃、言葉で伝えることがなかった家族や友達、先生への思いや感謝の気持ちを絵と文字で表し伝えてきました。反抗期でやんちゃな孫からの「おじいちゃん長生きしてね」と書いてある絵手紙をご覧になって目頭を熱くなさるおじいちゃんや、「おかあさんいつもありがとう」と書いてある言葉を読み、叱る言葉を飲み込み抱擁なさるお母さん。また、日ごろ指導に悩まれる若い先生方も、子どもたちからの「勉強がわかりやすくなった。先生ありがとう。」の言葉でまた、自信を持って授業に臨まれたりしました。

この経験から思いを言葉にして伝えることの大切さを痛感しています。

さらに言葉だけでなく、相手を思い一生懸命に書いた絵はお互いの心を豊かにします。

心と心の交流は本当に大切だけど、心は目に見えないから、目に見える現象面だけを見て聞いて不信感を持ったり、腹を立てたり、不満を持って行き違いが生まれたりします。

日中両国の子どもたちが絵手紙の交流でお互いを知り合えるきっかけになったらと思います。先日も「池田オリモイム」(国際交流)で中国の友達へ小学生が絵手紙を書きました。絵の中身は好きな食べ物や遊び等様々ですが、お互いを知るきっかけになるとと思います。

世界共通語の絵と漢字の故郷中国へ知っている漢字を使い、「心をつなぐ絵手紙」を通して、子どもたちと交流していけたらと思います。

(池田市日中・山口三佐子)



グローバル人材

最近「グローバル人材」という言葉をよく耳にする。「グローバル人材」というとすぐに外国語に堪能な人と考える向きも多いようだが、私の考えを述べてみたい。

海外での生活を経験すると、日本は世界から見れば特殊な国であるということがよくわかる。「日本の常識は、世界の非常識」と言われる所以である。しかし、日本には素晴らしい点が一杯ある。例えば、製造会社で社長もワーカーと同じ作業服を着て、同じ食堂で同じ食事をするというのは他の国にはない。日本の経営者はワーカーも一緒に商品を作っている仲間だという意識が強い。それは給料の格差の少なさにも表れている。かつて日本の支配階級は必ずしも豊かではなかった。「土農工商」の最下位の商が金持ちであった。そこには金儲けだけを考えるのは卑しいことだという文化があった。一方で、世界の歴史では支配階級に富を集中させるのは当然であった。欧米にはかつて植民地や奴隷の歴史があり、ワーカーは単なる手段の一つでしかなかった。従って、作業は決められたことを決められたように遂行するように仕組みられており、自発的なアイデアが出ることはない。これに対し日本ではワーカーも企業の改善改革の主役の一員である。モノづくりにとってどちらがより強いかは歴然としている。

また、日本人は何かあればすぐに謝るが、他の国の人は余程のことがない限り謝らない。誤りを認めると、そこから追求が始まり、最後には責任を取らされ、罰金を払ったりするハメになるからである。日本には謝れば許すという気持ちを大切にす文化がある。これは製造会社にとって大変重要なポイントである。例えば何か問題が発生した時に、自分が(あるい

は自分も)悪かったと言って謝ることから改善や改革が始まるのである。私はこれを「自分が悪いと思う心」として、日本で仕事をしていた時から大切にしてきた。「自分が悪い」と思わなかったら、自分に何も責任がないのだから、何も新たな行動は始まらない。「自分が悪い」と思うからこそ、その問題が二度と起きないように改善改革への取り組みがスタートするのである。これらは世界の常識とは少し異なるが、誤りを受け入れて改善改革に繋げるという日本の素晴らしい点でもある。

「グローバル人材」とは、そのような日本的経営の良さをよく理解していて、それが何故素晴らしいことなのかを理論的に丁寧に説明し、実行できる人である。「日本ではこうしているからこうしろ」という人は「グローバル人材」ではない。日系企業なのだから、日本の良さを取り入れて経営するのは当然のことである。そのためにも自分の考えをしっかりと持って、粘り強くコミュニケーションを取れる人が「グローバル人材」なのである。(池田市日中・喜多忠文)



音楽を通じて深めた絆

私と中国内蒙古自治区呼和浩特市との交流は、音楽教育が基です。始まりは決して快いとは言えず、今思えば出しても不思議なくらいです。しかもクラシック音楽教育での始まりで、いきなり市政府や大学に、かみついたのですから無謀極まりない出発でした。

そのエピソードは瞬く間に広まり有名人?そして私の出来る事全てを慎重に見守り、協力して実行していく内に、「長い間先生のような日本人を待っていた。」と真面目に言われ私のボランティア教育が始まりました。幼稚園から大学まで音楽教育家としての活動から様々な方々との出会いにより少しずつ私への期待と信頼関係は広がり昨年のあの厳しい状況の中「日中国交正常化40周年記念コンサート」が外務省認定行事として皆様方の御協力により開催出来、しかも2012「日中国民交流友好年」実行委員会より感謝状まで突然届いた時には、やはり中国市民が何を望んでいるのかを私達は心して考え、この小さな希望の光を絶やす事の無きよう両国次世代への若者達へと、絆を深めていく責任を果たさなければなりません。まだまだ沢山の事を話し合いながら「夢」の実現を「老師」と呼ばれてい

る自分に日本人として恥じる事のないように今後も一歩一歩前進あるのみ。外務省への報告に大変厳しい意見も書かせて頂き、皆様方の代弁が少しでも届いたのであれば成功？ 更なる氣力を次世代への想い『協調の時代』への祈念より寄稿させて頂きました。

来る4月30日～5月12日まで大阪ギャラリー「スピカ」にて、内蒙古大学芸術学院准教授、彩墨画家の個展を開催致します。中国茶と和菓子のおもてなし、画家とのギャラリートーク、馬頭琴演奏等、一味違った個展での交流にしたいと考えています。この個展は、呼和浩特市人民对外友好協会の友人の協力と信頼、そして双方希望の交流の礎となるよう日中友好協会の皆様方の御来場をお待ちしております。

(豊中市日中・山内富美子)



チ・ボラク氏と主催者 山内富美子



家でなかった家!?

とある会合に参加した時のことです。後ろの席からの声が聞こえました。

「吹田日中の活躍はすごいですね。北京で友好交流の家を持たれたのですか？」

「何のことですか？」

「“北京吹田友人の家”のことですよ。吹田日中の新聞で見ましたよ」

「いいえ、それは家を買うとか持つとかとは違っていますね……」

答える人の困った様子が伝わってきました。

実は、前大阪総領事館教育室・劉占山室長に命名していただいた、北京在住帰国留学生会の名称であります。命名者の説明をしっかりと受けず、「家」を物体の表現と理解して、中国人と日本人の友人が交流できる



北京吹田友人之家の友人、正面に劉占山ご夫妻
北京市内、地壇公園横

家（空間）と早飲み込みしていたのが実態でした。

思わず聞いた“北京吹田友人之家”が持つ本当の意味、その後中国の友人に聞いた私の理解とズレがあることに気づきました。「家」の持ついろいろな意味が分かり、改めて劉占山氏の見識の高さに敬服いたしました。

吹田日中では留学生支援を活動の柱に加えております。これは徳森相談役が30年前に始められた活動を引き継いでいるものです。ところが、残念ながら留学生生活を終え帰国した人たちとの関わりが皆目ありませんでした。徳森氏は反対給付を求めるような人ではなく、黙々と支援を続けてこられました。ただ一度、15年ほど前に帰国留学生有志から招待を受けてご夫妻で訪中されたと聞いてはおります。

支援する側がその返しを求めることには無縁ですが、出会いの良縁まで断ち切られてしまうことは、計り知れない縁の財産の喪失ではないでしょうかという思いが生まれ、2012年の春協会の発案で帰国留学生との出会いができました。大阪大学、広島大学、大阪府立大学の卒業生10名でした。そこに生まれたのが“北京吹田友人之家”という名前です。

したがって友人の家は、物ではなく「人を指す名詞につけられ特定の種類に属する者であることを表す。例えて、専門家、政治家、芸術家、家族など（広辞苑）」でありました。中国の挨拶でよく聞く「大家們晚上好！」の家はこれでしょう。

“北京吹田友人之家”は「北京吹田の友人たち」という意味でもありました。

これよりは、北京を上海、南京、新疆などに変え、中国全土に向かって友人の輪を広げていく“夢”を持っています。あの会合で私の後ろにおられたお二人に改めて感謝いたします。

(吹田市日中副会長・和田 融)

日中友好、今でしょう！

1972年9月29日、日本と中国は過去の忌まわしい出来事を清算し、隣人としての新しい関係をスタートさせました。しかし、現在の日中関係は明らかに正常な関係とは言い難い状況であり、もう一度、原点に戻って見直すことが必要と痛感します。

田中首相と周恩来首相の共同声明は平等・互恵の精神を柱として、戦争への反省と未来志向で貫かれていました。私自身も戦争を知らない世代ですが、全人口の8割となり、戦後民主主義の中で育ってきました。同時に、日中関係に限って言えば、井戸を掘った人たちのことを知らずに、現在の政治・経済の関係に一喜一憂する事の方が多くなってきました。

あらためて、私たちの出番です。

私が住む池田でも、春を迎えて、黄砂の日が多くなり、マスクが手放せない日が続いています。日本と中国は海だけでなく空でも一衣帯水を実感させてくれますが、中国国内はもっと、凄惨な状況のようです。

こんな時だからこそ、「平等・互恵」を土台として、国の立場を乗り越えて、国民同士が新しい関係をスタートさせる良い機会です。

経済優先社会がもたらす弊害は日本が経験してきました、中国も経験する必要はなく、環境や人にやさしい社会のつくりに協力し、実現できれば、私のマスクも必要なくなり、存分に五月山の桜の花を鑑賞できます。

私は長年、地方政治の分野で活動してきましたが、生活基盤を形成する、水や下水処理、ゴミなど環境分野で地方自治体が持つノウハウは非常に高く、ビジネスとしても有効です。また、中国国民の生活向上に伴って関心が高くなりつつある、食の安全確保も地方自治体にノウハウが蓄積されています。クールジャパンも関西の力を発揮できる分野です。

あらためて、真の隣人関係を構築するためにも、長年、人や地域の交流を中心に活動してきた日中友好協会の役割がスポットライトを浴びることになります。

私自身もそのお手伝いをできれば幸甚です。

(池田市日中副会長・井上 章)



広報委員会からのお願い

お差し支えなければ

メールアドレスをお知らせください

協会と会員の皆さんとの情報交流をきめ細かく迅速にするため、電子メールを活用したいと思います。

個人情報保護の問題もありますが、お差し支えなければメールアドレスをお知らせ下さい。登録の上、協会活動のホットなニュース行事などのご案内をメールでお届けします。

ITに強い方、ご協力をお願いします

メールアドレスの活用と同時に、協会ホームページの充実、さらなる活用を図っていきたく思います。ITに強い方、協会広報に協力したいと思われる方はぜひお申し出ください。お待ちしております。ご連絡は協会アドレスへ。

編集後記

*先号から新設した「MY OPINION」に、多くの方からご寄稿をいただきました。ありがとうございます。それぞれの場、それぞれのやり方で日中交流を続けておられる姿は心強いかぎりです。友好交流の基本は、一人ひとりの意志と行動なので、引き続きご寄稿をお願いします。体験談、実践例はもちろん、忌憚のないご意見、ご批判もどうぞ。

*15ページの「会員消息」で紹介した「上海の日本文化地図」は、大藪二郎副理事長が上海浦東空港の書店でたまたま見つけたものです。個人的にあるいはグループで独自の活動を進めている方たちの情報をお待ちします。自薦、他薦いずれも歓迎です。

*厳しい状況の中で2013年度の活動が始まります。しかし振り返ってみると、国交正常化以前の時代の先輩たちは、もっともっと厳しい状況の中で、日中友好の道を切り拓いてこられたのでした。改めて「井戸を掘った」人たちに思いを馳せたいものです。

(志)

「中国ゆかりの地」(日本名勝 中国淵源)

中日友好交流の新書 唐勝春 著

本書は「中国ゆかりの日本の名勝古跡」を主軸に、古代に日本へ渡来した中国人、徐福、後漢の阿知王、楊貴妃、朱舜水、鄭成功、遣隋使・遣唐使、さらには近代の孫文、魯迅など歴史上の人物の日本における遺跡や遺物を整理し、2000年余りにわたって中国の儒家思想や仏教、文化、人物が日本に与えた影響と途切れることなく続いてきた交流を写真と文章で描いている。同書は写真が豊富で文章も優れた観光ガイドブックであるだけでなく、日中関係史研究に携わる学者の参考にも供することもできる得難い学術書でもある。

(北京週報 日本語版 7月11日 劉幸宇 神戸学院大学、より抜粋、要約)

連絡先: ABC教室 TEL: 0798-47-8219 FAX: 0798-40-0624

定 価: 1800円 (税込) 日本語版、中国語版 どちらも同じ



各協会の地図



第29回 日本篆刻展

●特別展観 殷周秦三代の文字

5月14日(火)~19日(日)

大阪市立美術館 地下展覽会室 (天王寺公園内)

主催: 日本篆刻家協会

青年部メンバー募集!

中国好きの方、中国語を学習している方、在日中国人・留学生との交流などに興味のある方、青年部メンバーになりませんか。学生、在日中国人の方も大歓迎です! みんなで楽しく、日中友好交流活動に参加しましょう!!

- 対象: 若い方
- 資格: 日中友好交流に関心があり、青年部活動に参加可能な方
- 会費: 年間 3,000円
(※一般会員年間 12,000円のところ)

●お問合せ・お申込み

NPO大阪府日本中国友好協会

大阪市天王寺区大道5丁目4番6号 大阪スカウト会館2F

TEL: 06-6770-0080

E-mail: jcf@mail.infomart.or.jp

...お気軽にお越し下さい...

NPO大阪府日本中国友好協会

〒543-0052

大阪市天王寺区大道5-4-6

大阪スカウト会館2F

TEL: 06-6770-0080

FAX: 06-6770-0707

Eメール: jcf@mail.infomart.or.jp

